

150周年を迎えた宮城県制。

確かな将来像を見据え、医療体制の課題解決、ウィズコロナの観光戦略、

輸出戦略について質問しました。

## ■ 第386回県議会(令和4年11月定例会) 一般質問

**Q 福井** 重症心身障害児者の受入病床は慢性的に不足しており、仙台エコー医療療育センター等の民間施設を活用した対応の充実を検討すべきと思うがどうか。

**A 保健福祉部長** 仙台エコー医療療育センター等を活用した対応の充実について、重症心身障害児者を受け入れることのできる入所系の事業所は、県内に4施設あり、定員561人に対し、4月現在で待機者は74人。病床数の確保、専門的医師や医療スタッフの確保、施設整備費の確保など、様々な課題が考えられます。入所支援を含めた総合的な支援体制の整備が必要であることから、現在進めている障害者プランや障害福祉計画の見直しと並行して、検討してまいります。

**Q 福井** 医療的ケア児者に対応できる生活介護や放課後等デイサービスが不足する現状に鑑み、看護師確保を含めた施設の拡充や整備の在り方への認識はどうか。

**A 保健福祉部長** 11月現在、重症心身障害児者を支援する事業所は、生活介護5か所、未就学児の通園施

設16か所、放課後等デイサービス23か所です。施設への配置が義務付けられている看護師の確保が課題となっているため、常勤看護職員の設置に対し介護報酬で加算措置がとられております。

昨年度は、潜在看護師に事業所の求人情報の提供を行ったほか、今年度は、潜在看護師向けに研修会を開催する予定です。このほか、特に優先的な補助協議対象として位置付けており、受入施設の整備拡充に取り組んでおります。

**Q 福井** 大きな市場が形成されつつあるウェルネスツーリズムやアドベンチャーツーリズムについて、積極的に参画すべきと思うがどうか。

**A 経済商工観光部長** ウェルネスツーリズムやアドベンチャーツーリズムは、旅先で自然や文化に触ることによって心身をリフレッシュする効果があり、観光業界が、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、注目を集めている旅行形態と認識しております。地域の観光資源を活かした付加価値の高い体験型プログラムの造成に努めており、シーカヤックやトレッキングなど、受入体制の磨き上げを

行っています。心身のリフレッシュといった旅行ニーズの多様化やウィズコロナ・ポストコロナにおける旅行者志向の変化にも的確に対応します。

**Q 福井** 宮城県の農林水産物・食品輸出促進戦略の現状への評価と今後の方向性についてどうか。

**A 経済商工観光部長** 「宮城県農林水産物・食品輸出促進戦略」において、「米」「いちご」「日本酒」「牛肉」「水産物」の5品目を輸出基幹品目と定め、積極的な輸出促進施策を展開しています。近年、輸出実績が伸びている香港で展示商談会を開催、コメ、日本酒、鶏卵等の新規成約が実現したほか、台湾やシンガポール等においても展示商談会を開催。こうした取組により輸出機運も高まり、海外販路拡大に取り組む事業者が増加し、県の支援による新規成約分として、昨年度11の国と地域に対し13社48品目、金額にして約5,900万円の輸出に結びきました。

今後とも、海外のニーズを踏まえた商品づくりを支援、輸出に取り組む事業者や品目の増加を図ります。

※一部簡略化して掲載しています。

宮城県議会だより

検索



「みやぎ県議会だより」はどちらからご覧いただけます。令和2年度よりウェブ版「みやぎ県議会だより」を発行しており県議会をより身近に感じていただけるような紙面構成としています。

宮城県議会中継

検索



宮城県議会の傍聴に関しましては、新型コロナウイルス感染症対策にご配慮いただく状況が続いているのですが、現在はスマートフォンやタブレット端末でも議会中継をご覧いただけますのでぜひご活用下さい。

TOPICS



都道府県議会議員研究交流大会第2分科会「デジタル技術の活用を通じた議会・議員活動のあり方」では、東北大学河村准教授がコーディネーターとなり群馬県議会のオンライン委員会の開催実績、沖縄県議会のペーパーレス化の実現と諸課題・展望について伺いました。本県のデジタル推進の参考として有意義な学びになりました。

TOPICS



作並温泉の観光交流館ラサンタで仙山交流市が開催されました。新米や山形県大蔵村の野菜、果物、きのこ類が販売されました。さらに福島県伊達市から初出店もあり、社会の多様性に負けない豊かな食材の可能性に触れることが出来ました。資源の交流は地域の安定・持続性に繋がるを感じられる再発見の場となりました。

宮城県議会議員

# 福井 たかまさ



## 県議会活動レポート Vol.05

Takamasa Fukui Report

ご挨拶 | 皆さまにおかれましては ますますご清栄のことと お慶び申し上げます。また 日頃の政治活動に多大なるご支援を賜りまして 厚く御礼申し上げます。変異を重ねながら猛威を振るう新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになりました皆さまに 深い哀悼の誠を捧げますとともに 罹患された方々と後遺症に苦しんでおられる皆さまの一日も早いご回復をお祈り致します。私も県内で新型コロナウイルス感染症の発生以来 現在に至るまで 対策に尽力してまいりましたが その中で改めて地域への想いと責任感を強めているところでございます。11月定例会では 国において創設された「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を活用し、光熱費や物価高騰の影響を受ける生活者や事業者への支援策を予算化したところです。今後は感染症対策を講じながらも 皆さま方が日常生活への歩みを進められるように 県政の場で引き続き頑張らせていただく決意でございます。これからも 様々な世代の皆さま方が安心して暮らし いっそうのご活躍をしていただけますよう 地域の更なる充実を目指し活動してまいります。今後ともご支援・ご助力を賜りますよう よろしくお願ひ申し上げます。末筆ながら 皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

令和5年1月吉日  
宮城県議会議員 福井 たかまさ

## 常任委員会、調査特別委員会における福井の今後の活動について

### ● 常任委員会／経済商工観光委員会 副委員長

経済商工観光部の分掌に属する事項及び労働委員会の所管に属する事項

### ● 調査特別委員会／みやぎデジタル社会創造調査特別委員会 委員

#### ● 付議事件

デジタル社会の創造に関する諸施策について

#### ● 想定される調査事項

- DX推進による暮らしやすい社会の実現のための諸課題
- 産業のデジタル化における諸課題

以上、今後の取り組みについてご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

## 宮城県議会 自由民主党・県民会議 役員体制

### ■ 会派役員 紹介

会長	外崎 浩子 議員	泉 選挙区
幹事長	中山 耕一 議員	富谷・黒川 選挙区
副幹事長	伊藤 吉浩 議員	登 米 選挙区
政務調査会長	佐々木 幸士 議員	太 白 選挙区
副政務調査会長	村上 久仁 議員	名 取 選挙区
事務局長	高橋 宗也 議員	東 松 島 選挙区
事務局次長	瀬戸 健治郎 議員	栗 原 選挙区
事務局次長	渡邊 重益 議員	亘 理 選挙区

宮城県議会議員

福井 崇正 (ふくい たかまさ) プロフィール

常任委員会／経済商工観光委員会 副委員長 特別委員会／みやぎデジタル社会創造調査特別委員会 委員

- 昭和53(1978)年 4月22日生まれ、山形県新庄市出身
- 平成13(2001)年 東北工業大学建築学科卒業
- 平成13(2001)年～平成15(2003)年 住宅メーカー勤務
- 平成15(2003)年～平成31(2019)年 衆議院議員土井とおる先生の下、秘書として15年間政治を学ぶ
- 公益社団法人仙台青年会議所 特別会員
- 仙台青葉まつり実行委員会
- SENDAI光のページェント実行委員会
- 3.11キャンドルナイト実行委員会
- 仙台日仏协会会员 ●宮町商店街振興組合 财团法人
- 国見リトルベアーズスポーツ少年団顧問…等、仙台市内のまちづくりボランティア活動に積極的に参加

宮城県議会議員 福井たかまさ事務所

〒989-3125  
宮城県仙台市青葉区下愛子字二本松19-12

TEL 022(797)7875

FAX 022(797)7876  
E-mail tfukui1978@gmail.com

Facebook、またはTwitter、LINE、Instagramでも政治活動をご覗いただけます。 <https://www.fukui-takamasa.com> 福井たかまさ



# 課題に対する対策を総点検する質疑！ 旅行誘致、災害からの復旧、 災害対策のインフラ整備について質しました。

## ■ 第385回(令和4年9月定例会)予算特別委員会 総括質疑

Q 福井 当初提案された第6号補正予算と追加提案された第7号補正予算の考え方と財源は。

A 村井知事 第6号補正予算は、3月に発生した福島県沖地震で被災した施設の災害復旧費を予算化するとともに、農業用ため池の安全対策などの整備に要す経費を予算化。また新たな子育て家庭支援の基盤整備に向けた基金の造成、大規模な自家消費型の太陽光発電設備の導入促進経費も予算化、東日本大震災関連では、水産資源の維持に向けた経費を予算化しています。主な財源は国庫支出金が約24.2億円、県債が約20.8億円です。第7号補正予算は、7月の大震で被災した施設の災害復旧費や、賃貸型応急住宅の供与などの応急救助、災害援護資金貸付金に要する経費を予算化。主な財源は国庫支出金が約99.9億円、県債が約76.8億円、一般財源が約25億円です。

Q 福井 第7号補正予算では、国庫補助や、災害復旧事業債の活用により、地方負担額は大幅に軽減されている一方で、一定程度の一般財源負担が生じておりますが、その主な要因について伺います。

A 総務部長 第7号補正予算では、国庫支出金や災害復旧事業債、特別交付税など、国の財政措置を最大限活用して予算編成しました。一般

財源が生じているのは、災害復旧工事に先立つ災害発生査定に関する測量等の調査費、路面の清掃など応急対応経費等です。

Q 福井 第7号補正予算では、一般財源のほとんどを財政調整基金で賄っておりますが、財政調整関係基金の状況や、財政運営への影響は。

A 総務部長 第7号補正予算では、最終的に生じた財源不足24.8億円を財政調整基金から対応しております。今年度末の財政調整関係基金残高は212億円の見込みです。財政調整関係基金の年度末見込み残高は、補正予算編成後における年度末の見込み残高と比べて、26億円ほど減少していることや、感染症の影響、ウクライナ情勢など、経済の不確実性が高い現状からして、慎重な財政運営が必要と考えます。

Q 福井 6号補正の被災地の復興完了に向けたきめ細やかなサポートの教育旅行誘致促進事業1500万円について、既に5820万円を既決しておりますが、追加で補正する理由と事業概要についてお聞かせください。

A 経済商工観光部長 この事業は、県外からの教育旅行の誘致を促進するもので、当初予算で5820万円を計上、このうち貸切りバス利用助成分として2380万円を措置していました。この内容は県内に宿泊する教育旅行を実施する

県外の学校に対し、県内有料観光施設を2ヶ所以上訪問するなどの要件を満たす場合、バス1台当たり最大7万円を助成するものです。北関東を中心に教育旅行先として東北へ方面変更する学校が増加しており、既決予算を超える申込みがあったことから今回増額補正を行うものです。

Q 福井 教育旅行は団体で移動するため、宿泊事業者や観光地にとって経済効果も高いものと考えますが今までの成果はどうか。

A 経済商工観光部長 令和元年度以降増加傾向にあります。昨年度は110校で356台のバス助成金の交付実績となっております。今年度は既にこれを上回る状況で、既決予算分として、185校、431台に対し助成金の交付を決定しています。秋の修学旅行等を計画している学校があることから、更に80校程度を見込んでいます。

Q 福井 子育て支援対策臨時特例基金造成費、5億3922万円について想定される事業内容のメニューと期間について伺います。

A 保健福祉部長 母子保健・児童福祉の一元的管理体制における、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の一体的整備や改修等が考えられます。そのほか、訪問支援員が食事の準備や保育士の送迎支援を行うものなど、きめ細かな10の取組が国から示されております。事業期間は令和5年度末までにつき市町村では来年度の実施に向けて検討を進めています。

Q 福井 強靭で自然と調和した国土づくりの中の自家

消費型太陽光発電設備導入支援費1億円について伺います。新規で予算化した経緯は。

A 村井知事 再生可能エネルギーの導入と環境保全との両立が課題となる中、事業者用自家消費型大規模太陽光発電導入支援事業は、森林等の新たな開発を伴わない、需給一体型の再生可能エネルギーの普及を促進するものです。生産活動の脱炭素化、地域産業の国際競争力支援による、環境と経済の好循環創出を目的として予算化しました。

Q 福井 道路橋梁事業費、23億5015万円について伺います。今まで県では、社会資本整備総合交付金や防災安全交付金等を国に要望してきた経緯がありますが、昨年や例年と比較し、交付増となった要因は。

A 土木部長 通常予算については、震災前の水準まで回復していないため、予算確保が喫緊の課題。継続的な要望のなかで事業の必要性を丁寧に説明し取組や事業内容が国に認められたと認識しています。

Q 福井 東日本大震災からの復旧復興事業から、今後は、県内の道路改良や交通安全対策系の事業にも着手するということは、県全体の安心安心につながる施策と考えますが、今後、事業の見通しとともに、国への要望活動を継続し、県全体で安全・安心なインフラ整備を進めていく、意気込みをお聞かせください。



A 村井知事 令和3年3月に中長期的な道路施策の将来像を示した宮城の道づくり基本計画を策定し、持続可能な宮城の県土を支える道づくりを基本方針に掲げ、計画的に取り組んでいます。近年の激甚化・頻発化する自然災害に備えるため、内陸部も含めた災害に強い道路網の構築、今年3月に策定した通学路危険箇所対策プログラムに基づいた、通学路の安全対策のほか、インフラの老朽化対策など、国・防災・減災・国土強靭化のための5か年加速化対策予算等を積極的に活用し、重点的かつ集中的に推進していきたいと考えています。

Q 福井 3月16日に発生した福島県沖地震等への対応で、指定文化財等災害復旧支援費の事業概要は。

A 教育長 令和3年及び令和4年に発生した福島県沖地震で被害を受けた、国・県指定等文化財の災害復旧に要する経費の一部を、所有者等に対し補助をするものです。補助対象のうち、国指定等文化財は、村田町村田伝統的建造物群保存地区など13件、県指定文化財は、登米市の旧登米警察署庁舎など3件で、合計で16件。令和4年7月の大震で被災した、大崎市の旧有備館及び庭園の災害復旧に要する経費の一部を、管理者の大崎市に対して補助をするものです。

Q 福井 例えば村田町では災害復旧に関し、所有者20%負担だったのに対し、今回の復旧支援費は、所有者が10%の負担となり、所有者にとって、負担が大きく軽減されております。特交措置もあるとお伺いましたが、県の負担割合について伺います。

A 村井知事 度重なる自然災害により、文化財所有者等の修復に要する費用が嵩み、文化財を保存す



ることへの負担感が増していることから、所有者等の負担軽減を図り、文化財の早期復旧につなげることが必要と考え、災害復旧費用について県の補助率を引き上げました。また、補助額について災害復旧事業においては、この上限を撤廃することにしました。

Q 福井 生徒の皆さんのが安全で安心して学校生活ができるように、今後もしっかりと対策をもらいたいと思いますが、教育長の所感をお聞かせください。

A 教育長 学校は、一日の大半を過ごす学習と生活の場であることから、安全性の確保は極めて重要。自然災害が激甚化・頻発化している状況も踏まえ、防災体制の更なる充実に向けて、ハード、ソフト両面からしっかりと取り組みます。

※一部簡略化して掲載しています。

## ▶ 予算特別委員会とは

県の予算を総合的に審査・調査する委員会です。執行部から提案された予算案に対し、各会派の代表が質問を行う「総括質疑」や、現に設置されている6つの常任委員会をもって構成されています。

## 令和4年 宮城県議会の歩み

### 第382回県議会（令和4年2月定例会）

令和4年 2月14日(月曜日)～ 3月18日(金曜日) 33日間

### 第383回県議会（令和4年5月臨時会）

令和4年 5月30日(月曜日)～ 5月31日(火曜日) 2日間

### 第384回県議会（令和4年6月定例会）

令和4年 6月15日(水曜日)～ 7月 5日(火曜日) 21日間

### 第385回県議会（令和4年9月定例会）

令和4年 9月15日(木曜日)～10月19日(水曜日) 35日間

### 第386回県議会（令和4年11月定例会）

令和4年 11月24日(木曜日)～12月14日(水曜日) 21日間

## ▶ 新型コロナウイルス感染症支援情報ナビ

宮城県では、新型コロナウイルス感染症の影響でお困りの企業や県民のみなさまに向けて、宮城県および国の支援情報を探すことができるサイトを設置しております。

業種や分野別の情報、市町村ごとの関連情報もまとめておりますので、お仕事や生活に役立てて頂ければ幸いです。

<https://miyagi-pref.covid19.supportnavi.jp>



詳しくは下記のQRコードからもアクセス可能です。



## TOPICS



勾当台公園市民広場で開催された「エコフェス2022」を視察。仙台市で取り組む3Rやエコライフを学べるイベントでした。環境負荷軽減のための「ZEB」建物の推進、また耐用年数を超えた太陽光パネルの処分とリサイクルについて学びました。近い将来への心構えを持つことが出来る貴重な機会となりました。

## TOPICS



利府町のセキスイハイムスーパーアリーナ（グランディ・21）で開催された「子育て応援団すこやか2022」を視察致しました。各団体や企業、行政のブースが出展されており、親子向けの先進事例の紹介や、イベントも開催されていました。県歯科医師会のブースでは子どもの虫歯予防についてご意見を頂戴致しました。